



故 嶋田 甚五郎 先生

一般社団法人日本感染症学会名誉会員

1936年3月11日 生  
2024年7月1日 逝

# 故 嶋田 甚五郎 先生

(2024年7月1日)

## 【学歴・職歴】

1962年3月	東京慈恵会医科大学卒業
1967年3月	東京慈恵会医科大学大学院医学研究科内科系第二内科学専攻博士課程終了
1969年12月	国立松本病院内科医員（厚生技官）
1970年3月	東京慈恵会医科大学第三内科学教室助手（1976年より第二内科学教室に名称変更）
1976年9月	Harvard Medical School Channing Laboratory, Associate in Medicine (Boston, U.S.A)
1978年8月	東京慈恵会医科大学第二内科学教室 助手
1979年3月	東京慈恵会医科大学第二内科学教室 講師
1989年1月	東京慈恵会医科大学第二内科学教室 助教授 兼務 東京慈恵会医科大学附属病院第2内科診療科長
1990年10月	聖マリアンナ医科大学第一内科客員教授
1991年4月	聖マリアンナ医科大学微生物学教室主任教授 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター臨床薬理部門部門長 兼務
2001年3月	聖マリアンナ医科大学微生物学教室定年退職
2001年4月	聖マリアンナ医科大学客員教授／昭和薬科大学大学院客員教授
2007年4月	財団法人日本抗生物質学術協議会理事長／昭和薬科大学顧問

## 【学会・学術講演会歴】

- 一般社団法人日本感染症学会  
入会 1978年10月19日  
評議員 1983年3月1日～1993年4月14日  
監事 1993年4月15日～1995年4月12日、1999年3月30日～2001年3月28日  
理事 1995年4月13日～1999年3月29日、2001年3月29日～2005年4月5日  
名誉会員 2006年4月20日～2024年7月1日  
  
第73回日本感染症学会総会・学術講演会会長（1999年3月30日～31日、東京国際フォーラム）
- 公益社団法人日本化学療法学会（名誉会員）  
第49回日本化学療法学会総会会長（2001年、横浜市）  
第41回日本化学療法学会東日本支部総会会長（1994年、東京都）
- 一般社団法人日本臨床微生物学会（名誉会員）  
第7回日本臨床微生物学会総会会長（1996年、東京都）
- 一般社団法人日本環境感染学会（功労会員）

## 嶋田甚五郎先生を偲んで

令和6年7月1日、嶋田甚五郎先生が88歳でご逝去されました。嶋田先生は評議員、監事、理事として日本感染症学会の発展に大いに貢献されました。また、1999年に第73回日本感染症学会総会を総会長として開催されました。先生の訃報に接し、学会や医療関係者から多数の弔意が寄せられていることから、生前のご業績とお人柄が偲べれます。

嶋田先生は1962年に東京慈恵会医科大学の上田内科教室(教授:上田泰)に入局され、その後、特に感染症や化学療法の領域で診療・研究にご活躍されました。1990年には聖マリアンナ医科大学難病治療研究センターが開設される際に、当時センター長であった水島裕先生から招かれ、後に微生物学教室の教授や難病治療研究センター臨床薬理部門長を務められました。

私と嶋田先生の繋がり、1997年4月に、長崎大学第二内科から当時嶋田先生が主宰されていた微生物学教室に助手として呼んでいただいたことに始まります。当時の私は大学の教員としての第一歩を踏み出したばかりで、まさに右も左もわからない若僧でしたが、先生には教育者・研究者としてのあり方を、優しく、時に厳しくご指導いただきました。先生はとにかく何事にもスマートで、「君、学会に行くのに茶色のスーツを着るとは何事ですか。黒か紺を着なさい」といったように、礼儀のようなことさえも一から教えてくださいました。

写真は私が聖マリアンナ医科大学に赴任して間もない頃のもので、大学の近くにあった明治製菓のグラウンドで、教室員、大学院生、当時教室に出入りされていた先生方、細菌検査室の方

達と野球をした時のものです。先生は当時、現在の私と同じ年齢であったはずですが、澆刺と投手を務められていて、普段の物静かな紳士とは違う一面を見て、少し驚いたことを覚えています。

聖マリアンナ医科大学病院感染制御部は2000年に活動を開始しましたが、その設立時の部長が嶋田先生でした。毎週、先生の難病治療研究センターのお部屋に集まったことが懐かしく思い出されます。当時は、まさか24年間も続けることになるとは思いませんでしたが、感染制御部での仕事は私のライフワークになりました。また、先生は在任期間中に様々な学会の学会長を務められ、その度に役者不足ながらプログラム委員や事務局の仕事を任せていただきました。その際、様々な先生方と一緒にさせていただいたり、学術集会在どのように運営されているのかを学ばせていただいた経験が、その後の私の財産になりました。

嶋田先生は、お亡くなりになる少し前まで、聖マリアンナ医科大学病院に入院されておられました。私たちがお見舞いに伺うと、ご指導いただいていた当時のような穏やかな笑顔をお見せになることもありました。病室にはお孫さんの絵画や書がたくさん飾られており、先生のお人柄が偲べられました。心からご冥福をお祈り申し上げます。嶋田先生、長らくご指導いただき、本当にありがとうございました。



2024年11月

竹村 弘 記

(聖マリアンナ医科大学微生物学 主任教授  
聖マリアンナ医科大学病院感染制御部 部長  
一般社団法人日本感染症学会 理事)